

# 平成26年度事業報告

グループホーム ほの花

## 年間延べ入所者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入所者数	497	526	510	555	558	513
1日平均入所者数	16.6	17.0	17.0	17.9	18.0	17.1
前年度の1日平均入所者数との比較	-37	18	0	2	4	-23

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
552	540	551	531	500	531	6,364
17.8	18.0	17.8	17.1	17.9	17.1	17.4
-4	8	32	10	-1	-25	-16

## 入所者状況

平成27年3月31日現在

平均年齢	84.8歳 (前年同日 90.0歳)
平均介護度	4.3(前年 3.2)
待機者	20人

## 入退所者数(年間)

- ・入所者: 3人(前年 2人)
  - ・退所者: 3人(前年 2人)
- 退所理由
- ・長期入院 1人
  - ・死亡 2人(病院 0人, ほの花 2人)
  - ・その他 人( )

## 主な取り組み①

・職員の質の向上

### ①職員主体の勉強会を実施

4班に分け各班テーマを決め勉強会の資料を作成。ミーティングで講義形式で実施。

### ②入職2年未満の職員、パート対象の勉強会の実施。

### ③エルダーの活用

新人職員に入職三年以上の職員が指導職員として付き指導に当たる。

※新人研修プログラムを作成。

## 主な取り組み②

看取りケアの実践・入退院の対応強化

2名の看取りを振り返り、取り組み内容を検討。

### ①ケアプランのこまめな更新

管理者が家族、医師、看護、介護と連携を密にし、入居者さんの状態、家族の希望に沿ってケアプランを変更していく。

### ②医療機関とは必要に応じ連携した記録を残す。 受診・電話・FAXなど

### ③ユニットリーダーに入院時の対応を実際の現場を見てもらい指導していった。

### ④ユニットリーダーに入院中も施設して出来る対応、早期退院に向けた病院との話し合いの場も経験してもらった。

### 主な取り組み③

新規入居者のリロケーションダメージの軽減

- ①対象入居者の選定に関し、入所申し込み待機者の中から各事業所と相談し入居者を慎重に選ぶ。
- ②入居対象者が決定した段階から入居までの期間にほの花職員が本人との関係作りのため訪問する。
- ③入居後も以前に構築されていた関係性を継続できるよう各関係部署、関係者との繋がりを維持できるよう働きかけた。

### 主な取り組み④

入居者さんの役割、生きがい、作り

- ① 干し柿、干し野菜、苗立て作りを通して活動範囲を広げる。
- ② 託児所ひまわりとの交流を増やし、新しい関係性作り取り組む。ひまわりと相談し入居者さんが個別に託児所を訪問し交流の機会を作る。  
※物盗られ等の周辺症状の軽減につながっている

### 主な取り組み⑤

ユニットリーダーの育成

- ①実践者研修、リーダー研修の受講
- ②ユニットにてケアの方針、チームとして取り組む体制をそれぞれのリーダーに考えてもらい取り組んでいる。
- ③管理者が行っていた業務を可能な範囲で教え実施してもらった。
- ④各職員の担当業務を見直し、担当を変えるなど、職員のスキル向上を検討してもらった。